

平成28年度
区政会議
魅力・ブランド部会

住之江区役所 政策推進室
ブランディング担当

平成27年度 区政運営の振り返り

【具体的取組1-3-1】

近代化産業遺産を活かした『suminoeアート・ビート』の推進

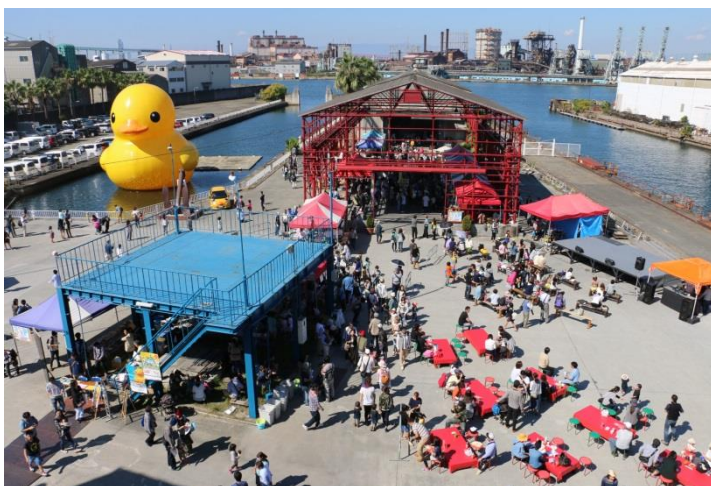
近代化産業遺産「名村造船所大阪工場跡地」で、アーティストや地域住民が主体的に活動するまちづくりアートイベントを開催

日時：平成27年10月18日

参加者：9,600名

認知度：55.8%（H27区民モニターアンケート）

※近代化産業遺産「名村造船所大阪工場跡地」の認知度



【具体的取組1-3-2】

『suminoeクール・ビート』の推進

①南港ATCで「光のワンダーランド」を開催

日時：平成27年12月12・13・19・20・23日

ATC来場者：140,000名（花火観覧者：7,000名）

住之江区はクールジャパン（ポップカルチャー）が盛んである」と思う

区民の割合：37.7%（H27区民モニターアンケート） ※目標50%以上



【具体的取組1-3-2】 『suminoeクール・ビート』の推進

②「加賀屋新田会所跡 春らんまんこどもまつり」を開催

日時：平成28年3月13日

参加者：550名



平成27年度 区政会議部会での主な意見

- ①光のワンダーランドがATCの事業に見えてしまっている
- ②イベントは継続性が大事
- ③地域の取組に参画するなど、加賀屋や南港以外の地域へも事業展開すべき(「安立まつり週間」など)

平成28年度予算

【具体的取組1-3-1】

近代化産業遺産を活かした『suminoeアート・ビート』の推進

予算 2,200千円

- ・アートの集積地である北加賀屋周辺を核に、住之江区内をアートで活性化し、「住之江」といえば「アート」といわれるようなイベントを、地域で活動しているアーティストとともに企画・開催するなど、住之江のブランド向上に向けた取り組みを実施
- ・地域・地元アーティスト・企業・NPO等からなる実行委員会を立上げ、企画段階から参画いただき、継続可能な活動へとつなげていく。

【具体的取組1-3-2】

『suminoeクール・ビート』の推進

予算 1,800千円

- 南港でイベントを開催
- 南港の地域、咲洲の企業や、学校等からなる実行委員会を立上げ、企画段階から参画いただき、継続可能な活動へとつなげる。
- 「大阪・光の饗宴」とも連携し、住之江の魅力を広く発信するプロモーション事業として構築

今後とも、区民の皆さまのニーズを踏まえながら、自らの地域に愛着や誇りが持てるよう、住之江区の魅力向上に向けた取組を検討し、実施してまいります。